

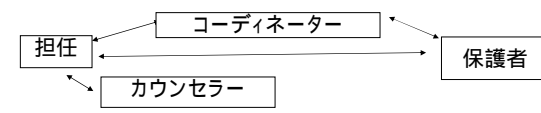
事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組めた(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	実施時期	課題と今後の方向性	担当課	質問・意見	担当課の回答
109	多様な交流活動	地域交流や世代間交流など多様な交流の場や機会を充実し児童・生徒の交流活動を促進します。	23	17年度	0	年間(地域のお年寄りとの交流・地域公開・地域人材の活用)	C	通年	地域格差による学校格差をなくす工夫	学校教育課	質問 学校ボランティアとは、何か？	質問の回答 学校のさまざまな教育活動を支援する保護者、地域の方々であり、組織としては確立してなく、その都度、学校側が主となり召集、活動を行う。
				18年度	0	年間(生活科・総合的な学習の時間・学校行事)	B	通年	学校応援団づくりに向けてのリストアップ			
				19年度	0	学校ボランティアによる教育活動の支援及び地域住民との交流活動の推進を行った。 体験活動の充実を図った。 (生活科・総合的な学習の時間・学校行事等を中心とした地域人材の活用、学校公開)	B	通年	学校応援団の組織体制の確立			
				20年度(予定)	0	学校ボランティアによる教育活動の支援及び地域住民との交流活動の推進を行う。 体験活動の充実を図る。 (生活科・総合的な学習の時間・学校行事等を中心とした地域人材の活用、学校公開)		通年				

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組めた(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	実施時期	課題と今後の方向性	担当課	質問・意見	担当課の回答			
132	保育園4、5歳児を対象にしたチャレンジ*(障害者・児)への理解の促進	障害者スポーツ大会への参加機会をつくることや、パネルシアター等を使い、わかりやすくチャレンジ*に対する思いやり、接し方を身につけ、幼児期からのチャレンジ*への理解を深めます。	29	17年度	0		C	通年	社会福祉課等と連携により実施。保護者の理解が必要。	こども福祉課	意見 取組状況の評価が、17年度から19年度までの間、いずれも”一部取組めた(C)”の評価であることは、大きな問題ではないか？	意見の回答 保育園を管轄するこども福祉課としては、次のとおり実施する予定です。 ・民間保育園での育成保育の実施を促進するために、20年4月から補助金の交付額を増額するための要綱整備を行いました。 ・各保育園から提出された今年度の事業計画は、別紙4のとおりですが、育成保育(障がい児保育)の実施園は、みなみ・しらこ・ひろさわ・にいくら・ほんちょうの5園のみであることから、育成保育を実施していない保育園に対しては、今まで以上に必要性を周知した上で、障がい児とともに成長できる保育ができるように促します。また、日常の保育の中でも、障がい者(児)に対する思いやり、接し方などを身に付けられるようにパネルシアターや絵本、ビデオなどを有効に活用するよう、園長会議などを利用して周知します。 ・平成19年度から年数回職員交換研修として、社会福祉法人朝霞地区福祉会が運営する「にいくら保育園」と同法人が運営する知的障害児通園施設「みつばすみれ学園」との間で、互いの施設で保育等を実施する研修を行い、障がい児の受け入れについての知識や理解を深めている。			
				18年度	0		C	通年	社会福祉課等と連携により実施。保護者の理解が必要。						
				19年度	0	各保育園の回答(別紙4)のとおり	C	通年	事業実施には、社会福祉課との連携に加え、在園児童の保護者の理解も必要となる。						
				20年度(予定)	0	各保育園の回答(別紙4)のとおり		通年							
				17年度	458,500	和光市障害者スポーツ大会(10月)	C	10月	関係課の連携を密にし、事業の周知、保護者の理解を図る				社会福祉課	意見 取組状況の評価が、17年度から19年度までの間、いずれも”一部取組めた(C)”の評価であることは、大きな問題ではないか？	意見 C Aに修正願いたい。 和光市障害者スポーツ大会開催に当たり、障害者団体、障害者が利用する施設及びボランティア連絡会の代表等で和光市チャレンジドスポーツ大会実行委員会を設置し、計画から実行まで行っている。 この委員会で前年度の反省・課題や今年度の方向性等、活発に意見交換されている。 また、19年度から会場を中学校体育館から総合体育館へ変更したことに伴い、参加人数も増えている。
				18年度	183,670	和光市障害者スポーツ大会(9月)	C	9月	事業の周知等、参加への誘導						
				19年度	190,859	広報や個別通知(障がい者あて)で周知し、障害者だけでなく地域住民の参加を広く募り、和光市障害者スポーツ大会を開催した。 参加者262名(うちボランティア36名) ボランティア内訳: ボランティア連絡会、和光高校、和光国際高校、新座高校、第三中学校	C	和光市障害者スポーツ大会 10月13日	事業の周知等						
				20年度(予定)	248,750	H19年度と同様に、和光市障害者スポーツ大会を開催し、スポーツを通じ地域住民との交流を図る。		和光市障害者スポーツ大会 9月27日							
				17年度	458,500	和光市障害者スポーツ大会(10月)	C	10月	関係課の連携を密にし、事業の周知、保護者の理解を図る						

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組めた(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	実施時期	課題と今後の方向性	担当課	質問・意見	担当課の回答
133	福祉教育の充実	市内全小中学校において、ボランティア活動や福祉交流教室などの学習活動を進め、福祉やノーマライゼーション*についての理解を深めます。また、総合的な学習の時間における福祉体験学習の実施(車イス体験・点字学習等)および社会福祉協議会主催の研修会による指導力の向上を図ります。	29	17年度	1,155,000	各校の年間計画による体験学習の実施	B	通年	社会福祉協議会との連携	学校教育課	意見 福祉体験については、知的障害の体験も出来る工夫が必要ではないか。 (例)協力者が、被験者の理解できない言語(日本語以外の言語等)を用いて、被験者を追い立てる。視界が一点に集中することを理解するため、ペットボトルを覗く。	意見 の回答 共同及び交流学习の機会を増やしていくことにより、福祉やノーマライゼーションについての理解を進めてまいります。
				18年度	1,543,000	各学校では、総合的な学習の時間を中心に福祉体験学習を実施	B	通年	社会福祉協議会との連携			
				19年度	1,140,000	市内各校で、福祉体験にかかる教材の充実を図るとともに総合的な学習の時間を中心に社会福祉協議会と連携し、福祉交流活動、福祉体験活動、ボランティア活動を推進した。	B	通年	社会福祉協議会との円滑な連携			
				20年度(予定)	1,140,000	市内各校で、福祉体験にかかる教材の充実を図るとともに総合的な学習の時間を中心に社会福祉協議会と連携し、福祉交流活動、福祉体験活動、ボランティア活動を推進する。		通年				

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組めた(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	実施時期	課題と今後の方向性	担当課	質問・意見	担当課の回答
319	給食指導	望ましい食習慣の形成と給食指導に努めます。栄養教諭にかかわる資料収集及びアレルギーを持つ児童生徒への対応の充実	47	17年度	0	年間(家庭との連携・保健学習の実施・研修会への参加)	A	通年		学校教育課	質問 平成19年度に強化磁器を2校で導入しているが、どの学校か? また、全校への導入見通し(今後の予定を含め)は、どのようか? 意見 導入については、不平等とならない配慮をしてほしい。	質問 の回答 H19 第四小学校 第三中学校 H20 新倉小学校 第三小学校 施設設備を整備しながら順次導入していきます。 意見 の回答 施設設備を整備しながら順次導入していきます。
				18年度	0	通年(給食形態の工夫・保護者対象の調理実習・農産物直売所に給食メニューの掲示)	C	通年	各学校の取組を市全体の取組にまとめる。			
				19年度	12,203,016	給食形態の工夫 給食メニューの紹介 親子料理教室 強化磁器導入(2校)	C	通年	アレルギー対応について全校統一が難しい			
				20年度(予定)	16,651,000	H19年度と同様に実施する。		通年				

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組めた(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	実施時期	課題と今後の方向性	担当課	質問・意見	担当課の回答
453	特殊学級の生きた指導の充実	通常の学級に在籍した上で障害に配慮した指導を行う場となる(仮称)特別支援教室としての機能も検討し、特別支援教育コーディネーターを養成していきます。また、「共に育ち、共に学ぶ」ために(仮称)就学支援委員会において、誰もが共に分け隔てなく教育が受けられるための方法を検討します。	65	17年度	0	特別支援教育コーディネーターの育成・選出	A	通年		学校教育課	質問 特別支援員の予算は、ないのか? 意見 普通学級に在籍している、支援を要する児童に対するケアの項目がないことは、存在を否定されているようであり、おかしい。 意見 特別支援コーディネーターは、特殊学級を設置されていない学校では、教育指導計画を前担任と児童の保護者を交えて、連携しながら作成してほしい。色々な人が係って情報交換をしながら進めていくことが望ましい。	質問 の回答〔こども福祉課〕 本調査では、人件費は記載しておりません。 意見 の回答 特別な配慮を要する児童生徒は、特別支援学級に在籍する児童生徒だけでなく、通常学級に在籍する児童生徒も該当し、支援を行っております。 意見 の回答 個別の指導計画については、どの小中学校においても特別支援教育コーディネーターが担任と連携を図りながら、担任が中心となって作成しております。校内に個別の指導計画を保管し、新担任へ引き継がれております。
				18年度	0	特別支援教育コーディネーターを各学校1名指名し、研修会や会議を開催。特別な配慮を必要とする児童生徒の個別の教育指導計画の作成。	B	通年				
				19年度	0	特別支援教育コーディネーターの指名(各校1名)、研修会(年2回)、就学支援委員会との合同会議(年1回)を行い、特別な配慮を必要とする児童生徒の個別の教育指導計画の作成を行った。	B	通年	特別な配慮を要する児童生徒への支援体制の充実			
				20年度(予定)	0	引き続き、特別支援教育コーディネーターの指名(各校1名)、研修会(年2回)、就学支援委員会との合同会議(年1回)を行い、特別な配慮を必要とする児童生徒の個別の教育指導計画の作成を行った。		通年				



事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組めた(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	実施時期	課題と今後の方向性	担当課	質問・意見	担当課の回答
457	生活支援の充実	ケアマネジメント*を実施し、チャレンジド*個人に係る支援プランを作成し、ニーズに応じた支援を行います。	65	17年度	0	支援費支給決定等	C	通年	自立支援法施行の中で相談支援、ケアマネジメントの充実を図る	社会福祉課	質問 自立支援協議会とは、何か？	質問 の回答 障害者自立支援法第2条の規定に基づく相談支援事業を効果的に実施するため、地域において障害者を支えるネットワークの構築が不可欠であることから、地域自立支援協議会を設置する。 具体的には、障害者の個別支援のための意見調整をするものとしている。
				18年度	0	支援費支給決定等	C	通年	相談支援員の充実			
				19年度	0	地区担当のケースワーカーが個別ケースに応じ、マネジメントを実施した。	C	通年	自立支援協議会の中でサービス調整部会を立ち上げ、関係機関と連携を図りながら、マネジメントを実施する。			
				20年度(予定)	0	自立支援協議会を立ち上げ、サービス調整部会の中で、各関係機関と連携を図りながらマネジメントを実施する。		通年				
				予算額(円)								

事業番号	施策・事業	内容	行動計画のページ	年度	決算見込額(円)	事業の実施内容	よく取組めた(A) ほぼ取組めた(B) 一部取組めた(C) 全く取組めていない(D)	実施時期	課題と今後の方向性	担当課	質問・意見	担当課の回答
513	防犯パトロールの実施	公用車へ「防犯パトロール中」のステッカーを貼り、啓発に努めます。また、市職員による青色防犯パトロールカ-による防犯パトロールを実施していきます。	71	17年度	0	「防犯パトロール中」のステッカーを庁用車に貼付	C	4.7.12月	平成18年度から、4・7・12月に防犯ステッカーを貼付する。対応マニュアル等を作成する。	くらし安全課	質問 平成19年度と平成20年度の予算を比較すると、大幅に増加しているが、予算の内訳及び増額の理由は？	質問 の回答 青色回転灯パトロールカ-は、平成19年10月に贈呈された。平成19年度は、予算計上なしのため、燃料費・修繕料が増額した。
				18年度	0	「防犯パトロール中」のステッカーを庁用車に貼付 「和光市職員防犯パトロール対応マニュアル」を作成し、犯罪等の現場に遭遇した場合に、適切に対応できるようにした。	A	4.7.12月				
				19年度	76,125	庁用車に「防犯パトロール中」のステッカーを貼り走行することや毎週2回市職員による「青色防犯パトロール」を実施した。	A	4・7・12月 「防犯パトロール中」のステッカーを貼り毎週2回「青色防犯パトロール」	青色防犯パトロールを委託化して、夜間などもパトロールを行いたい。			
				20年度(予定)	485,542	引き続き、「防犯パトロール中」のステッカーを貼り走行することや毎週2回市職員による「青色防犯パトロール」を実施していく。		4・7・12月 「防犯パトロール中」のステッカーを貼り毎週2回「青色防犯パトロール」				
				予算額(円)								